

2008 年度

科目名	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者
メディア文化論		西木 正
授業テーマ メディアを通じた情報と社会		
授業の概要と目標 現役ジャーナリストの眼でタイムリーな話題を読み解きながら、さまざまな情報と社会のかかわりを論じます。活字、電波、ネットなどさまざまなメディアを窓として、あふれる情報から必要なデータをどのように選び、活用することができるか。授業を通じて、就職活動や社会人生活に向けた一般常識のスキルアップを目指します		
評価方法 出席点50%、レポート50%（学期末に、関心を持った授業テーマについてのレポートの提出を求め、自分の言葉で自分の考えが表現できるかで評価します）		
テキスト 授業内容に即したレジュメを適宜配布します	著者	出版社
参考書 ニュース時事能力検定公式テキストブック	著者 日本ニュース 時事能力検定協会	出版社 毎日新聞社
授業スケジュール・内容 1. メディア文化論概説（1）<はじめに>この授業から何を学べるか、何を学んでほしいか 2. メディア文化論概説（2）さまざまなメディアの概観と特性 3. 現代メディアの構造（1）ニュース取材の仕組みを知る 4. 現代メディアの構造（2）報道の現場でジャーナリストは何を考えるか 5. 現代メディアの構造（3）「速報性」と「信頼性」のかね合いは 6. 現代メディアの構造（4）ニュースの価値判断と選択基準はどこにある 7. 現代メディアの構造（5）「世論」はどのように形成されるか 8. 現代メディアの諸課題（1）メディアと市民社会の関係を考える 9. 現代メディアの諸課題（2）ジャーナリズムは権力などの外圧とどう戦うのか 10. 現代メディアの諸課題（3）情報公開と個人情報保護、実名・匿名問題 11. 現代メディアの諸課題（4）犯罪報道と「報道被害」を考える 12. 現代メディアの諸課題（5）誤報、ねつ造、盗用はなぜ起きる 13. メディアの将来と展望（1）ジャーナリストの意識と市民の目線の違い 14. メディアの将来と展望（2）多様なメディアの競合と共存を考える 15. メディアの将来と展望（3）<おわりに>かしこい「受け手」になるために (時事のニュースを素材に授業を進めるため、順番は適宜変更する場合があります)		